

2021年3月期 第3四半期 決算説明会

ソフトバンク株式会社

2021年2月4日

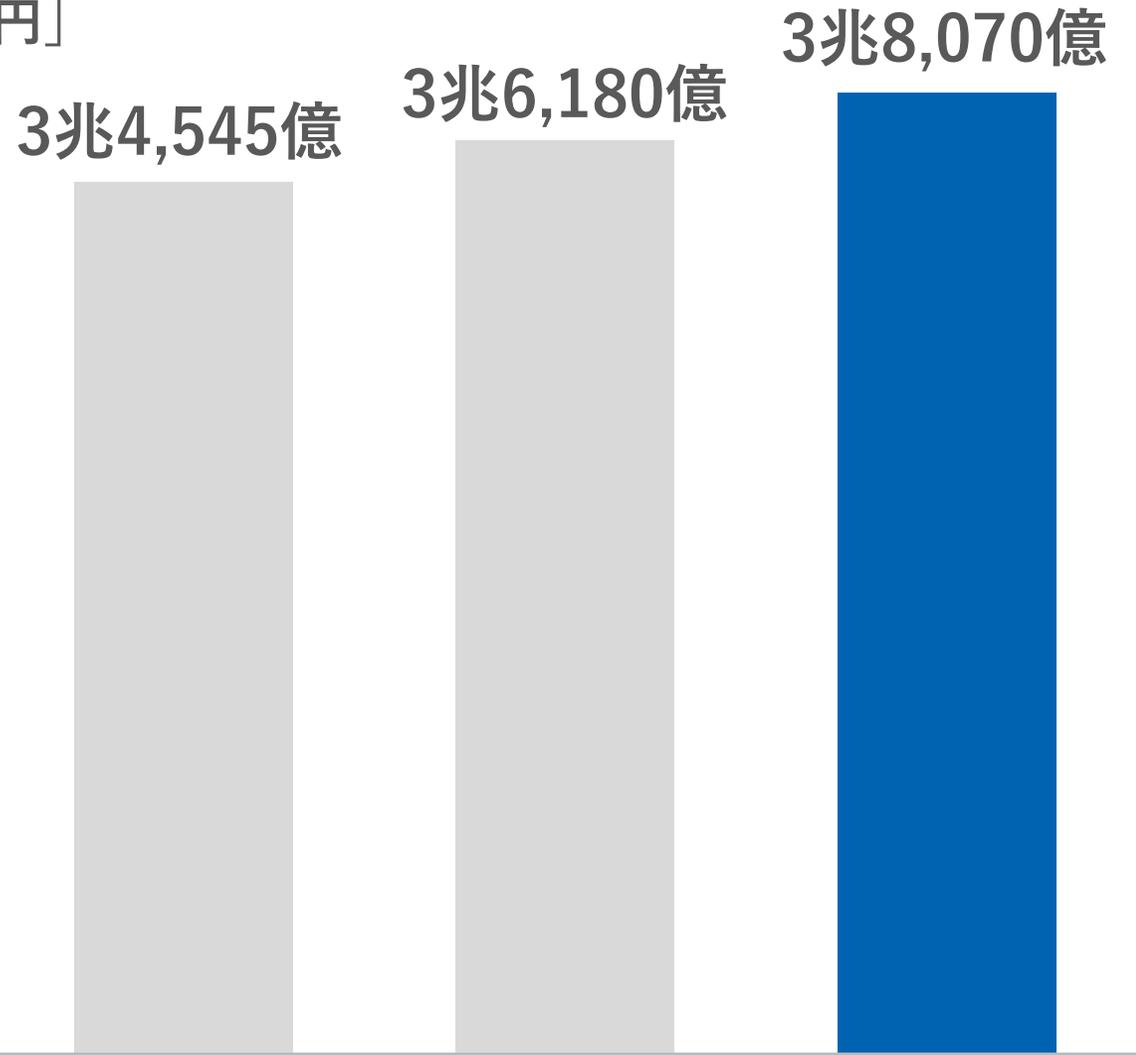
免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

2021年3月期 第3 四半期 連結業績

売上高

[円]



コロナ禍でも
5%増収

2018年度Q3累計 2019年度Q3累計 2020年度Q3累計

(注) 2018年度実績は、Zホールディングス株式会社(旧ヤフー株式会社)を連結子会社化した影響の遡及修正を実施しています。

(注) 本資料では、Zホールディングス株式会社を便宜上「ZHD」と表記する場合があります。また、当社開示におけるセグメント名は「ヤフー」となります。

売上高 セグメント別

[円]

3兆8,070億

3兆6,180億

ヤフー

7,596億

+15%

8,738億

流通/
その他・
連結調整

3,516億

3,811億

法人

4,709億

+8%

5,078億

コンシューマ

2兆
359億

コンシューマ
サービス
モバイル
通信料

2兆
443億

コンシューマ
サービス
モバイル
通信料

全セグメント増収

ヤフー・法人が
増収をけん引

2019年度Q3累計

2020年度Q3累計

(注)モバイル通信料およびコンシューマサービスは、当社で一定の仮定を置いて算定したプロフォーマ情報(非監査情報)です。法人向けモバイル通信料は「法人」に含みます。

営業利益

[円]

8,416億

7,951億

7,295億

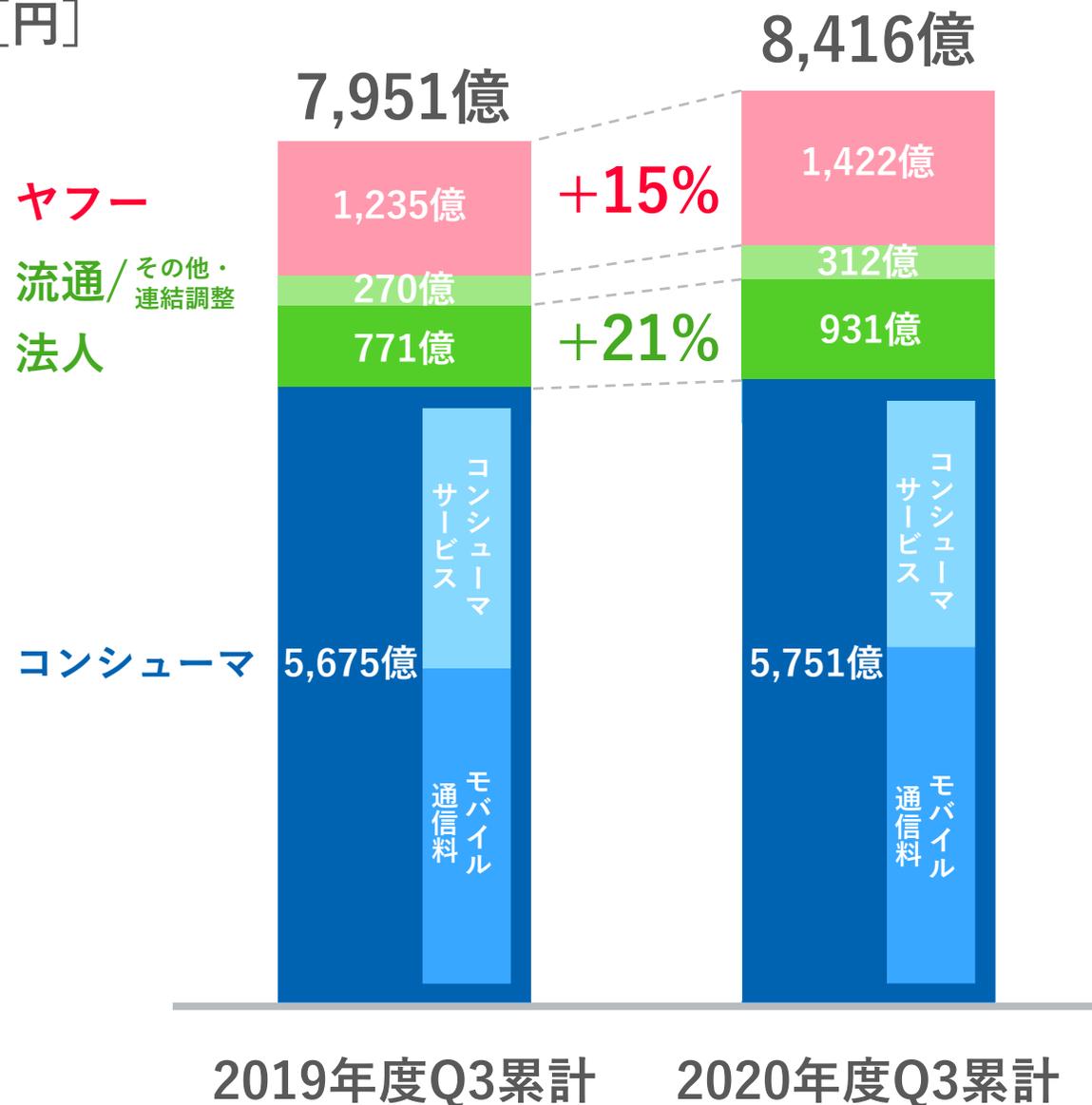
6%増益

2018年度Q3累計 2019年度Q3累計 2020年度Q3累計

(注) 本資料では、増減について特に記載のない場合は前年同期比を指します。

営業利益 セグメント別

[円]



全セグメント増益
ヤフー・法人が大幅増益

(注)モバイル通信料および消費者サービスは、当社で一定の仮定を置いて算定したプロフォーマ情報(非監査情報)です。法人向けモバイル通信料は「法人」に含みます。

純利益

[円]

4,233億

4,366億

4,338億

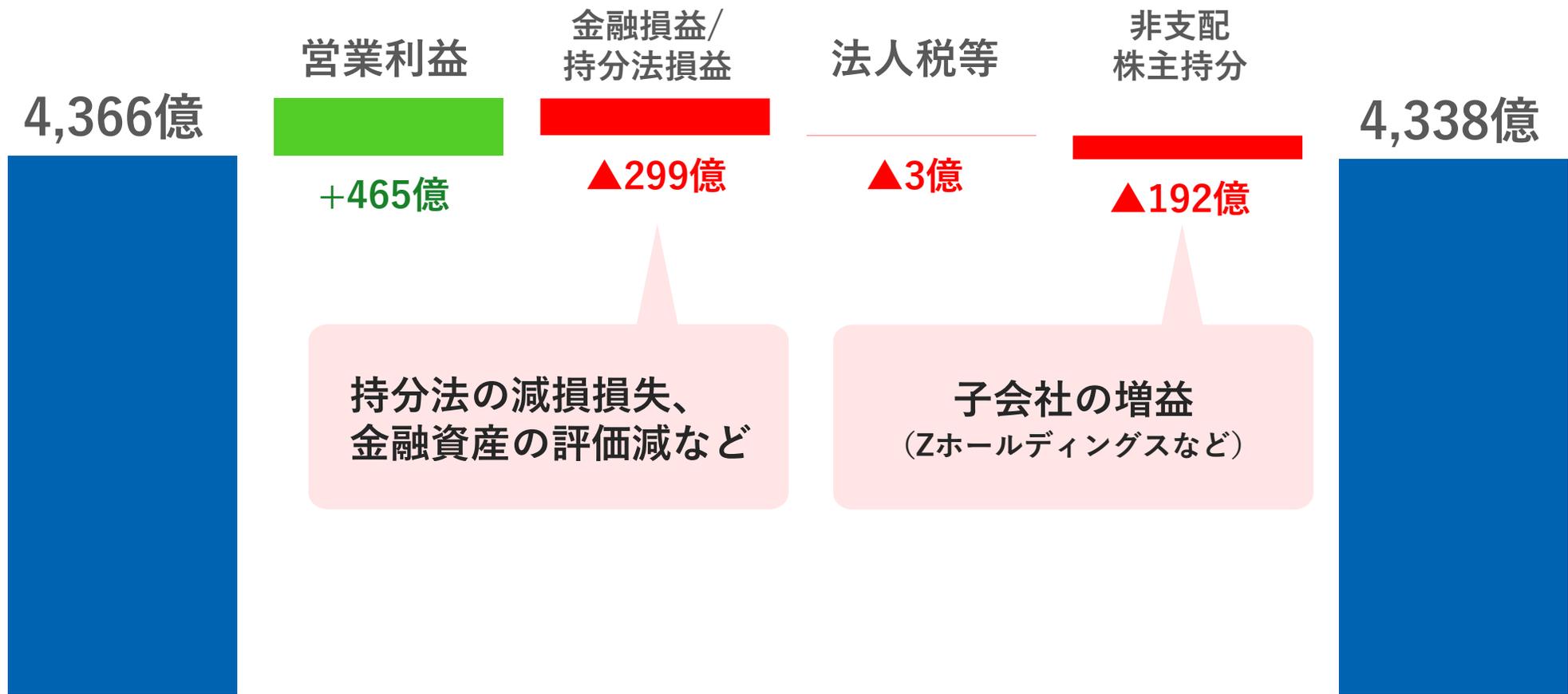
減損などの一過性要因により
純利益 前年並み

(通期では前年比で増益予定)

2018年度Q3累計 2019年度Q3累計 2020年度Q3累計

営業利益増も減損や金融資産の評価減により横ばい

[円]



2019年度Q3累計

2020年度Q3累計

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益

2020年度Q3累計 連結業績

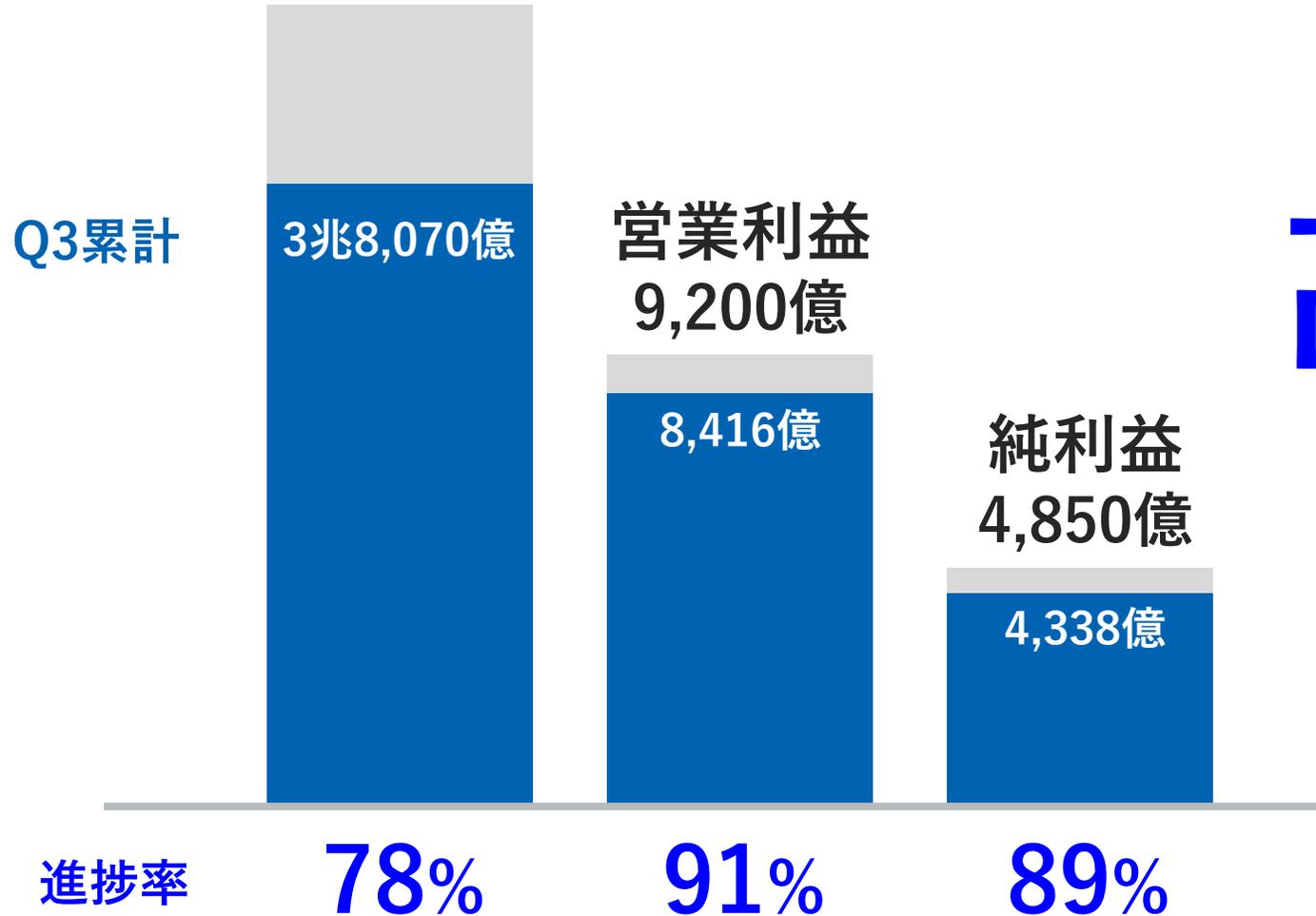
[円]

	2019年度 Q3累計	2020年度 Q3累計	増減	増減率
売上高	3兆6,180億	3兆8,070億	+1,891億	+5%
営業利益	7,951億	8,416億	+465億	+6%
純利益	4,366億	4,338億	▲29億	▲1%

2020年度 通期業績予想 進捗率

[円]

2020年度 売上高
通期予想 4兆9,000億



期初予想に対し
高い進捗率

2020年度 通期業績予想

[円]

通期予想の上方修正を実施

	2019年度 通期実績	2020年度		増減 [今回予想-期初予想]
		期初予想	今回予想	
売上高	4兆8,612億	4兆9,000億	5兆1,000億	+2,000億
営業利益	9,117億	9,200億	9,700億	+500億
純利益	4,731億	4,850億	4,900億	+50億

通期業績予想 上方修正理由

期初に見込んでいたコロナ禍によるマイナス影響を
デジタル化・巣ごもり需要のプラス影響が大きく上回った

期初予想修正理由

- 法人のテレワーク関連ビジネスが予想を上回る利益貢献
- 巣ごもり需要でヤフーのeコマースや子会社が成長
- モバイルで自粛による新規契約減を見込んだが順調に推移
- 流通事業で行政の大型ICTプロジェクトを受注

ソフトバンクの成長戦略 Beyond Carrier

非通信が
成長ドライバーに



通信事業



新領域



ヤフー/LINE



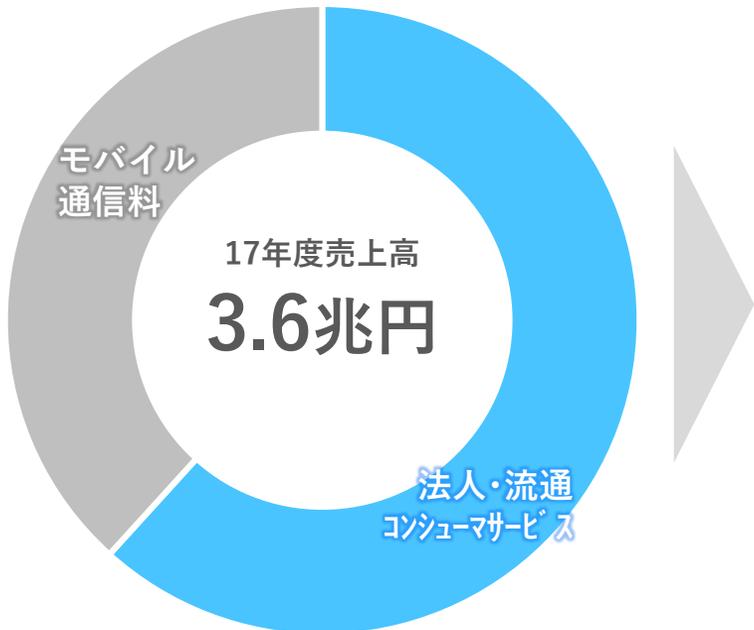
モバイル通信料以外が70%強

2017年度

38% : 62%

モバイル通信料

モバイル通信料以外

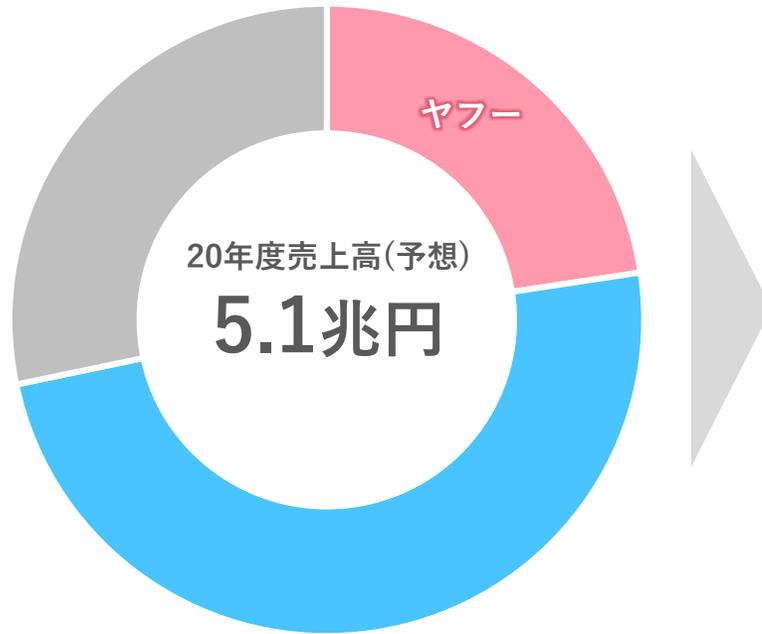


2020年度計画

28% : 72%

モバイル通信料

モバイル通信料以外



参考)LINE込み20年度概算

27% : 73%

モバイル通信料

モバイル通信料以外

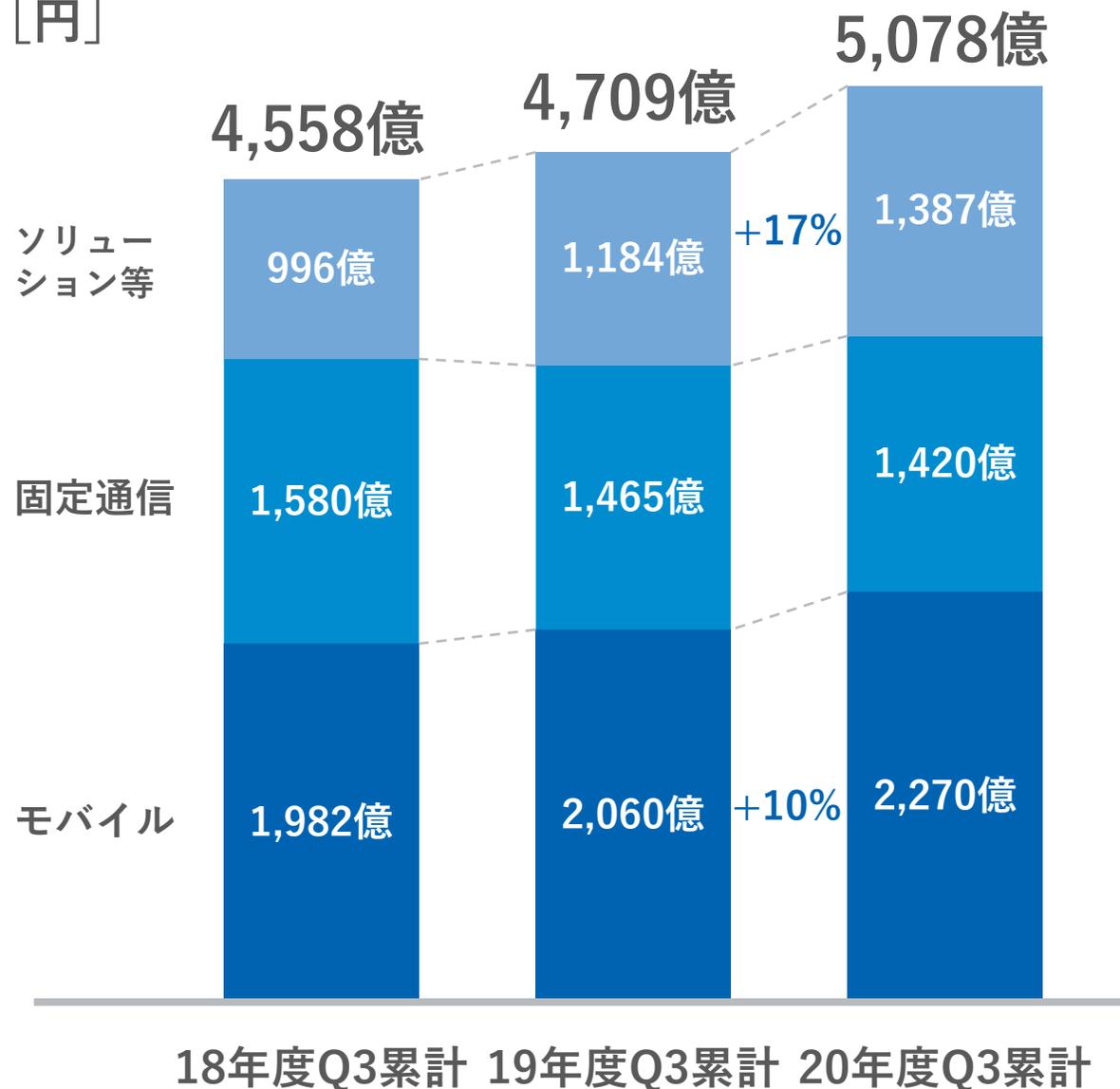


法人事業



法人事業 売上高

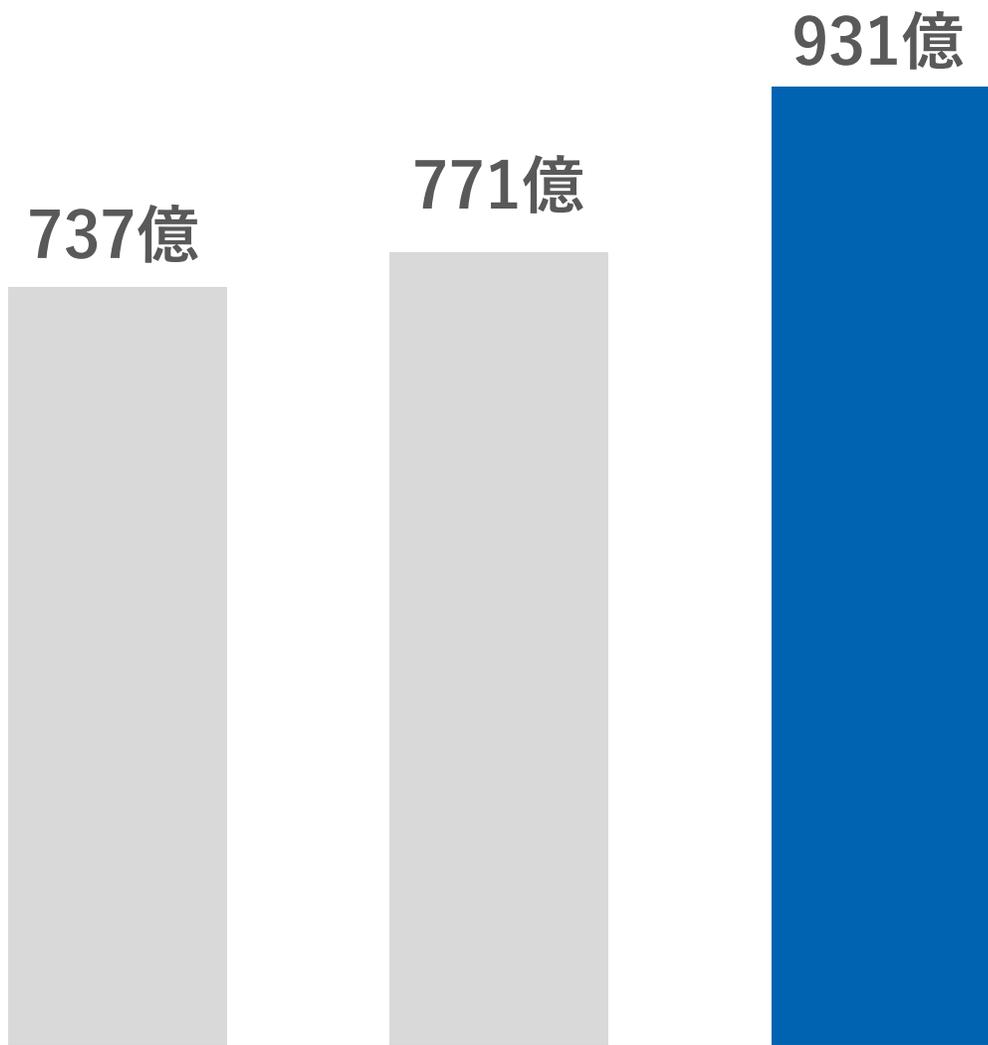
[円]



8%増収
ソリューション等が17%増

法人事業 営業利益

[円]



2018年度Q3累計 2019年度Q3累計 2020年度Q3累計

21%増益

テレワーク需要が追い風

四半期実績	Q1	Q2	Q3
2019年度	281億円	265億円	225億円
2020年度	313億円	333億円	285億円
増益率	11%増	26%増	27%増

クラウド・IoT・セキュリティが増収をけん引

クラウド

Q3累計
前年同期比 **43%増収**

Google Workspace

Microsoft 365



テレワーク需要を受け
新規獲得

IoT

Q3累計
前年同期比 **133%増収**



AI温度検知ソリューションの
需要急増



農業IoTソリューション
南米での大型プロジェクトに採択

セキュリティ

Q3累計
前年同期比 **104%増収**

cybereason



デバイス向けセキュリティ
需要急増

クラウドの需要拡大に対応し
20年12月 都内最大級の^{*1}データセンターを開業

延べ床面積
約45,000m²

当社が保有する既存の
都内最大のデータセンターの
2倍

約4,000ラック
収容可能

第1期ほぼ完売^{*2}

大手ネットサービス
プロバイダー等より受注

「デジタル三大革命」をビジネスチャンスに成長を図る

デジタル コミュニケーション



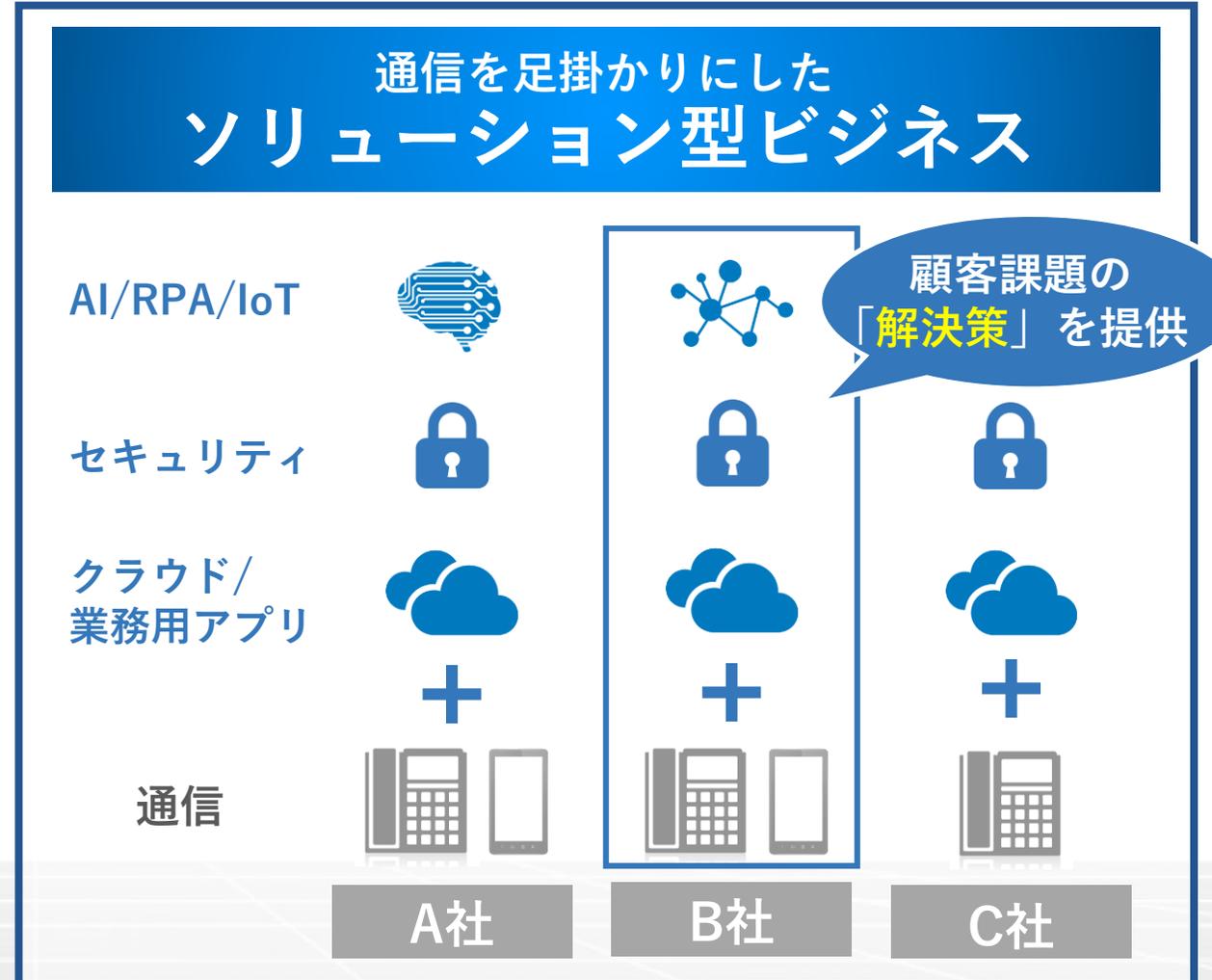
デジタル オートメーション



デジタル マーケティング



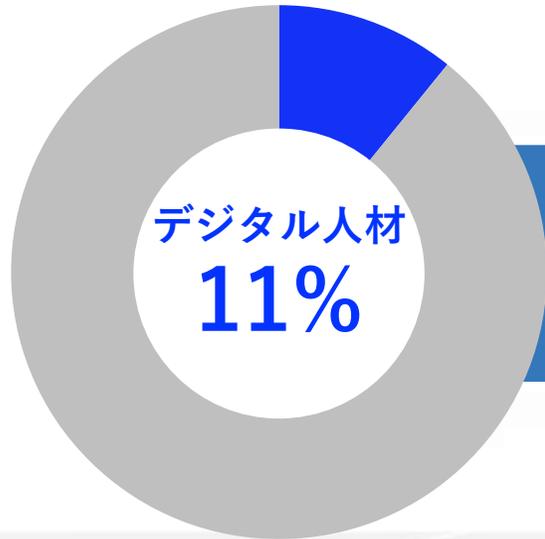
スマホ創成期から事業改革に着手



ソリューション提供に向けて人材育成を強化

法人事業 デジタル人材比率

2017年4月

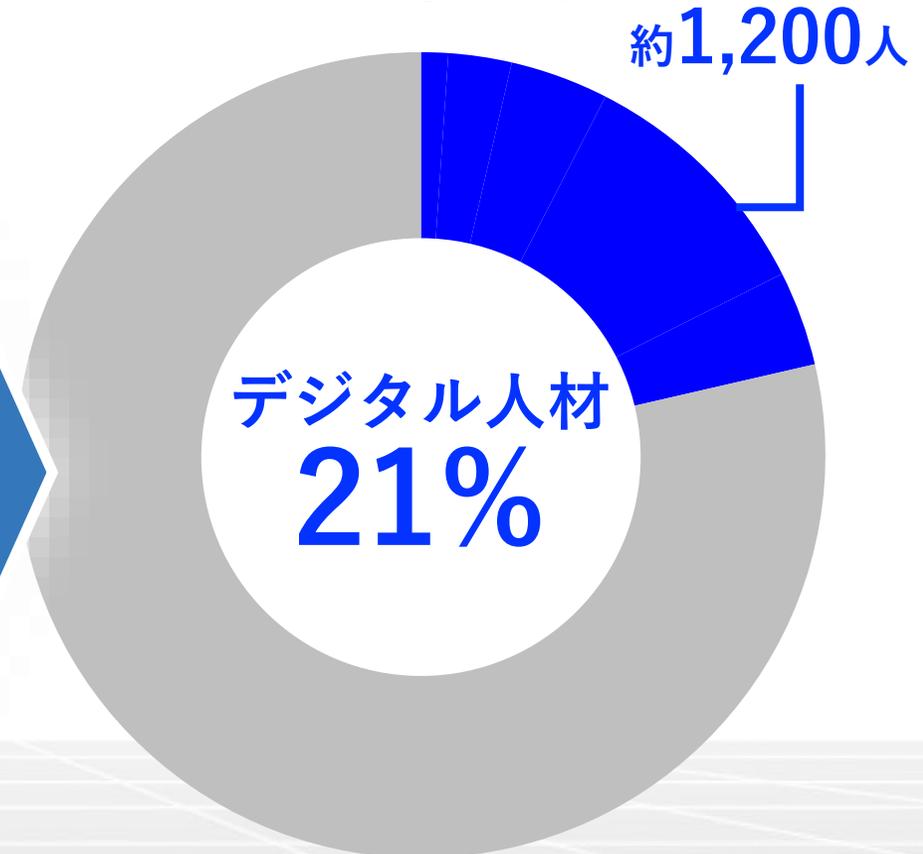


デジタル人材育成 研修

- ・コンサルティング
営業育成プログラム
- ・ビジネスプロデューサー
育成プログラム
- ・コンサルティングスキル
基礎研修

など

2020年11月



法人事業の改革

デジタル人材と技術部門のサポートで ソリューション型ビジネスが実現

法人デジタル人材（約1,200人）



ソリューション
エンジニア

プロダクト・
サービス開発

新規事業開発

ソリューション
営業

技術部門 法人サポート（約740人）



システム
エンジニア

ソリューション
エンジニア

データ
サイエンティスト

プロダクト・
サービス開発

+

法人営業



企業の個別課題に
最適な解決策を提案



テレワーク
体制を
構築したい



定型業務を
自動化
したい



デジタル
マーケティング
を強化したい

現在はソリューションの提供が**当社**の大きな強みに

[ソリューション提供の具体例]



企業のニーズ

「テレワークと業務デジタル化をしたい」

ソフトバンクのトータルソリューション

多様な商材

PC・スマホ
タブレット

ウェブ会議
ソフト

クラウド
環境

RPA

セキュリティ ...



ノウハウ

業務効率化コンサルティング

社員教育・運用体制サポート ...



法人事業 ソリューション等売上高

[円]

1,692億

1,450億

1,289億

ソリューション領域

年平均
成長率 **15%**

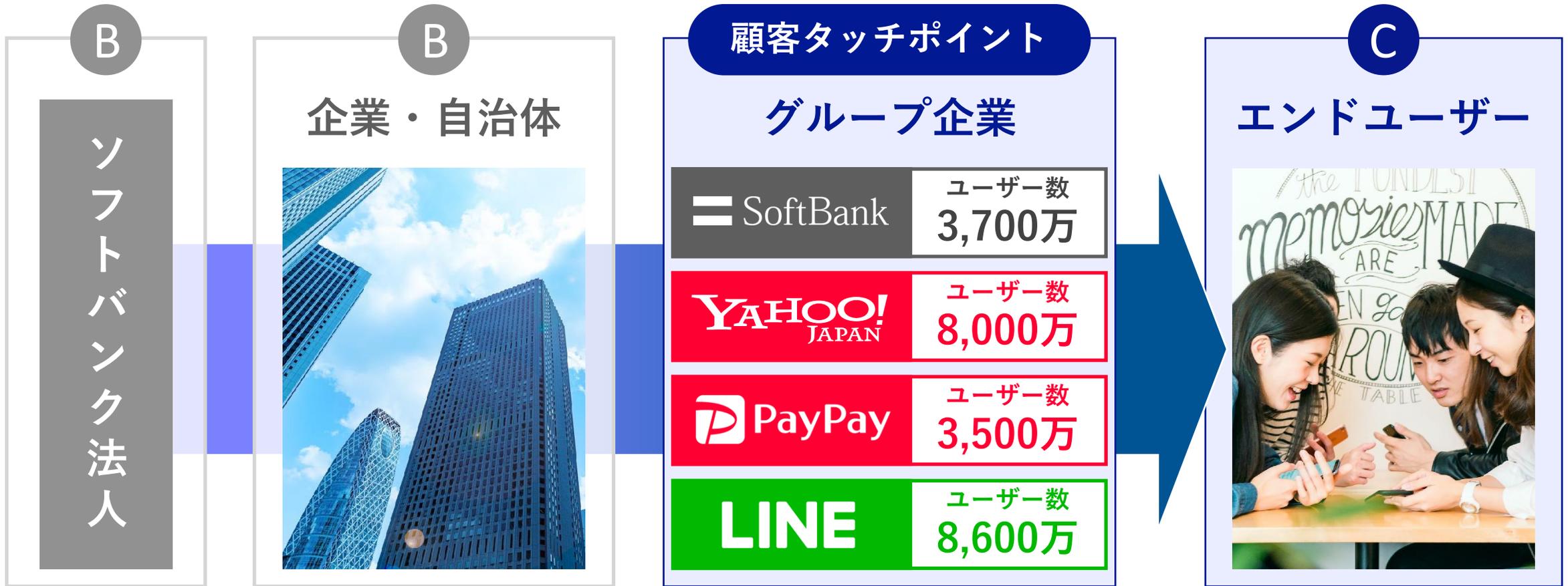
法人事業の成長の原動力に

2017年度

18年度

19年度

日本最大規模の顧客タッチポイントを活用し エンドユーザー領域までデジタル化を拡大



(出所) 顧客タッチポイント ソフトバンク：主要回線累計契約数(2020年12月時点)、ヤフー：年間ログインユーザーID数(2021年2月3日発表Zホールディングス決算資料)、PayPay：累計登録ユーザー数(2021年1月時点)、LINE：国内月間アクティブユーザー数(2020年10月28日発表LINE決算資料) (注) Zホールディングス株式会社とLINE株式会社の経営統合の完了は2021年3月を予定しています。

新本社スマートビルに多数の企業・自治体が視察

(昨年10月～12月：企業・自治体トップ180名以上参加)

2021年1月
移転完了

人流解析

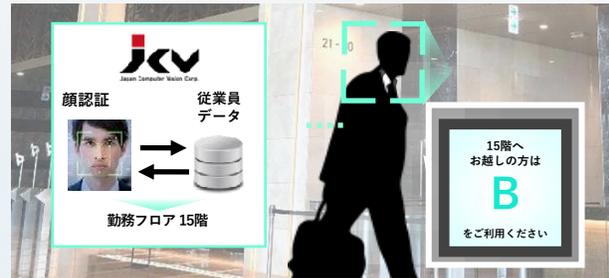
1,000以上の
センサー

全館
5G実装

映像解析

リアルタイム
データ活用

顔認証入館／エレベーター誘導



植栽水分量可視化



環境可視化



データ連動型サイネージ



混雑可視化



ロボット清掃



今後は他企業・他都市へ事業を拡大

新本社の
スマートビル
ソリューション



港区某エリア
再開発
(受注済)



顧客本社ビルの
スマート化



都心3区
オフィスビル
再開発
(受注済)



公共施設の
再開発

ディベロッパーやオーナー等より引き合い多数
すでに受注案件あり



 **5G**
SoftBank

今後10年間で約2.2兆円を投資



世界最高レベルの強靱なネットワークを築き5G普及を促進

5G対応エリアを順次拡大

東京

名古屋

大阪

2021年
3月



© Google

2022年
3月



© Google

(注) 2020年12月時点の計画値のため今後変更となる可能性があります。

薄い赤は4GLTE、赤は5Gエリアを示しています。ただし、5Gエリアは新規周波数と既存周波数を合わせた計画値です。詳細は、弊社ウェブサイトですら順次公開予定です。

5G × ∞

通信が非通信ビジネスを加速させる

超高速・大容量

多数同時接続

超低遅延



5G実証実験 (SUBARU様)

SoftBank

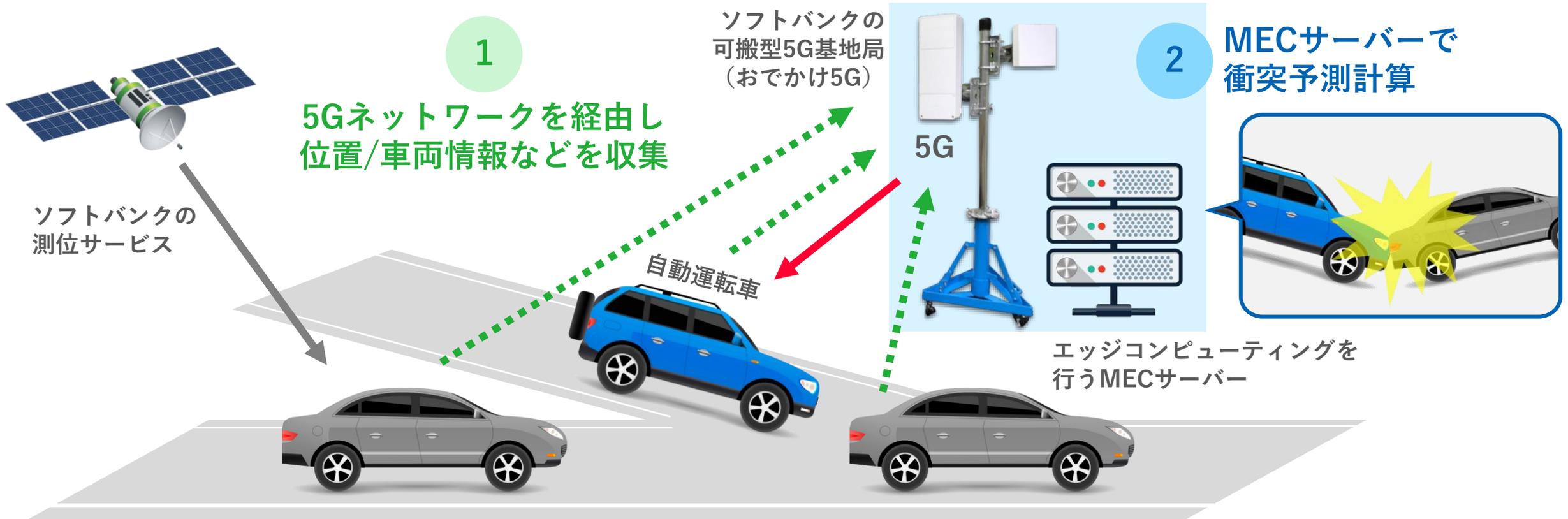
5Gを用いた「自動運転の合流支援」実証に成功

2020年8月実施



SoftBank

おでかけ5Gとエッジコンピューティングの支援により 時速70kmでスムーズに合流成功



1

5Gネットワークを經由し
位置/車両情報などを収集

ソフトバンクの
可搬型5G基地局
(おでかけ5G)

2

MECサーバーで
衝突予測計算

エッジコンピューティングを
行うMECサーバー

3

警告・減速指示メッセージを受けた自動運転車が
周辺情報とあわせて適切な制御情報の計算を実施

5G関連ビジネスの共創に向けた開発支援

来場数

130団体・617名

(開業後3カ月)



開発／検証



商用環境と
同等の通信環境

デモ体験



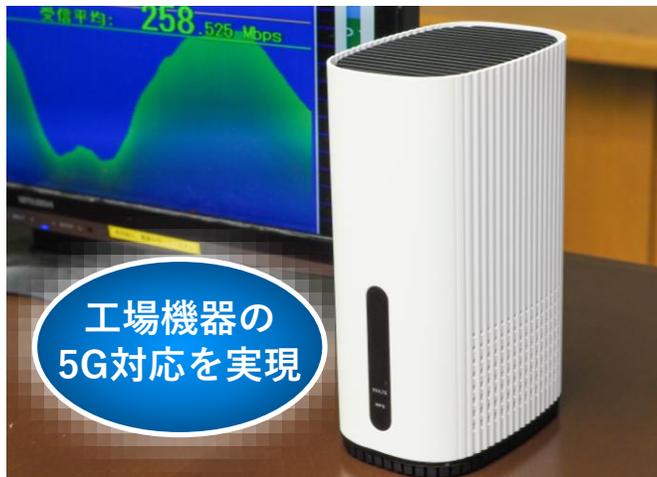
20点以上の
活用事例を体験

ビジネス支援



技術サポート
／マッチング等

複数のパートナー企業と共創を推進



工場IoT用5G端末



力触覚伝達型
遠隔操作システム



GPUを活用した
5G仮想基地局の技術検証

流通事業

文部科学省 GIGAスクール構想

「学校のパソコン1人1台」実現へ

コロナ禍を受けて達成目標を3年前倒し
2021年3月末までに全国整備を目指す

① デバイス

生徒1人に1台PC端末

② 学校の通信

すべての学校に
通信環境を整備

③ 家庭の通信

家庭の通信環境を整備



ソフトバンクの GIGAスクールトータルサポート

端末・設備導入



導入前



全体設計

導入後



200超自治体から 100万台以上受注

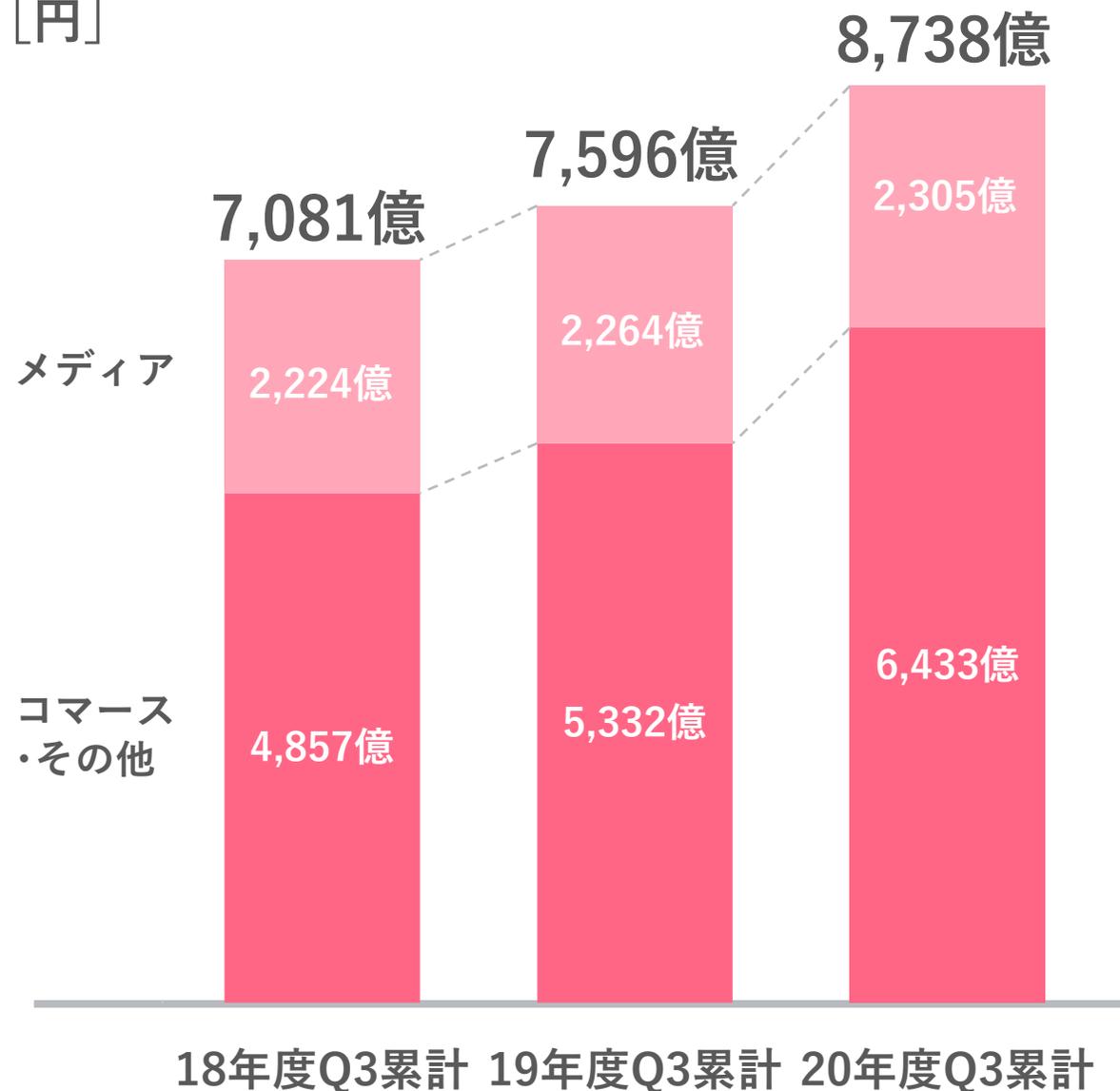
流通事業と法人事業の共同プロジェクト

YAHOO! JAPAN



ヤフー事業 売上高

[円]

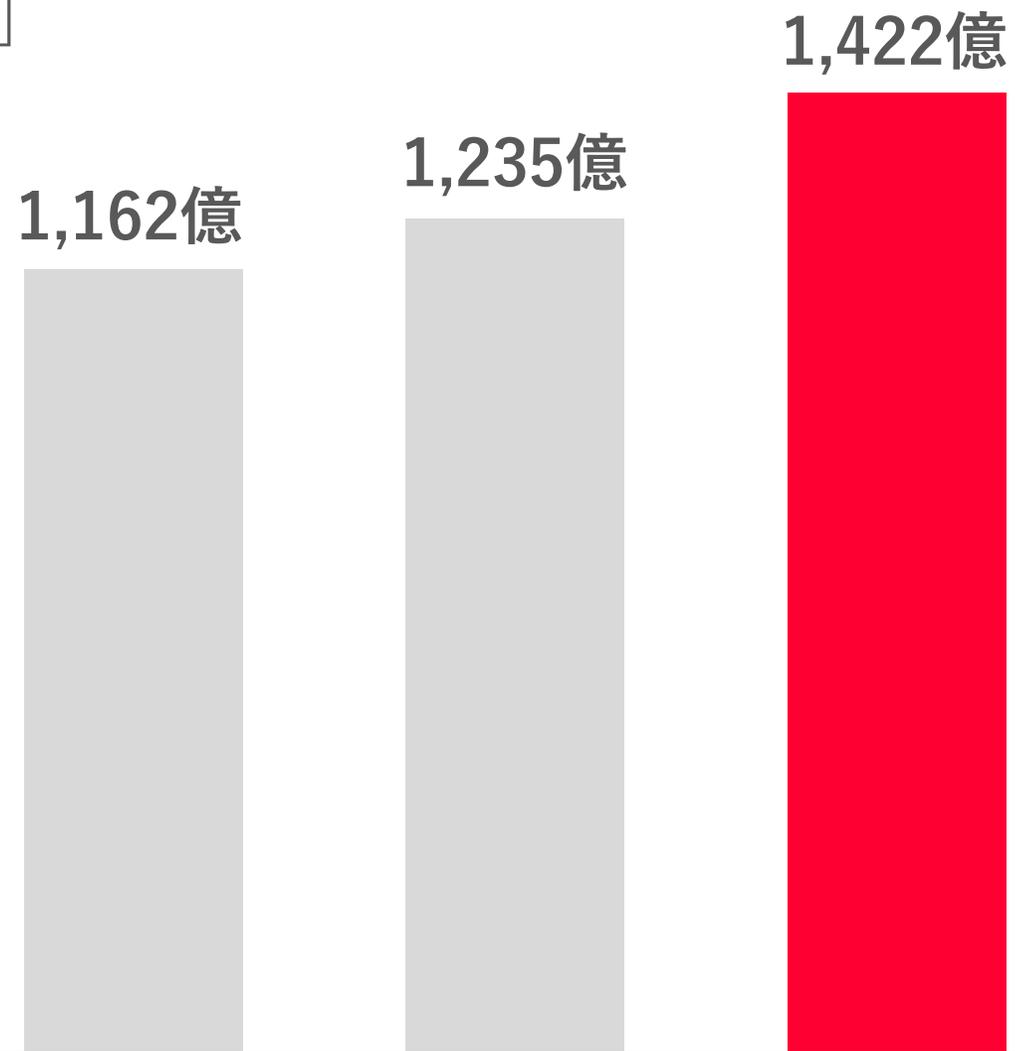


コマースの伸長により
15%増収

(注) 2020年4月に一部のサービスおよび子会社を「コマース」から「メディア」へ移管したことに伴い、2019年度に遡って修正を反映しています。

ヤフー事業 営業利益

[円]



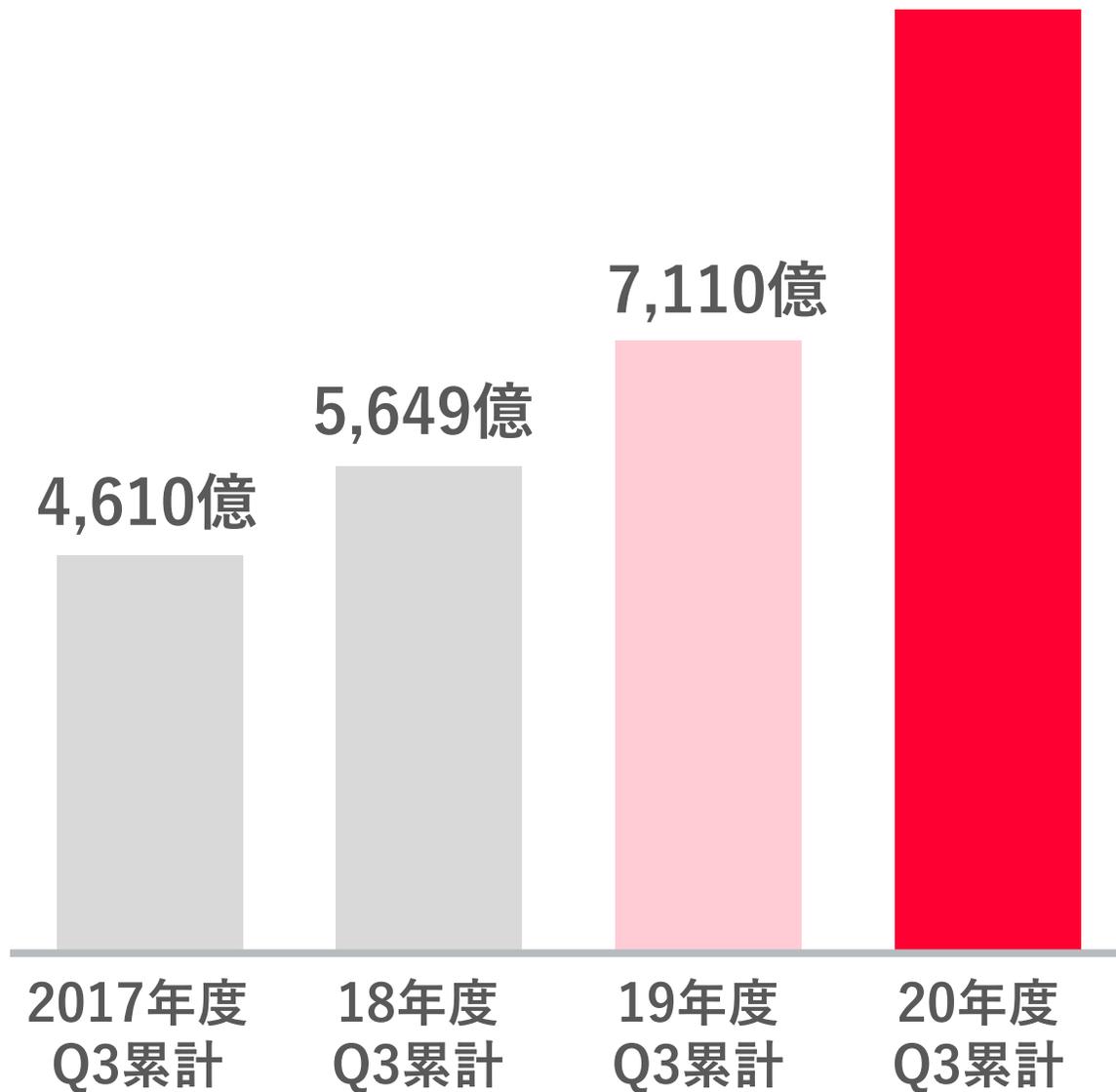
15%増益

2018年度Q3累計 2019年度Q3累計 2020年度Q3累計

ヤフー事業 ショッピング取扱高

[円]

1兆945億



ショッピング取扱高

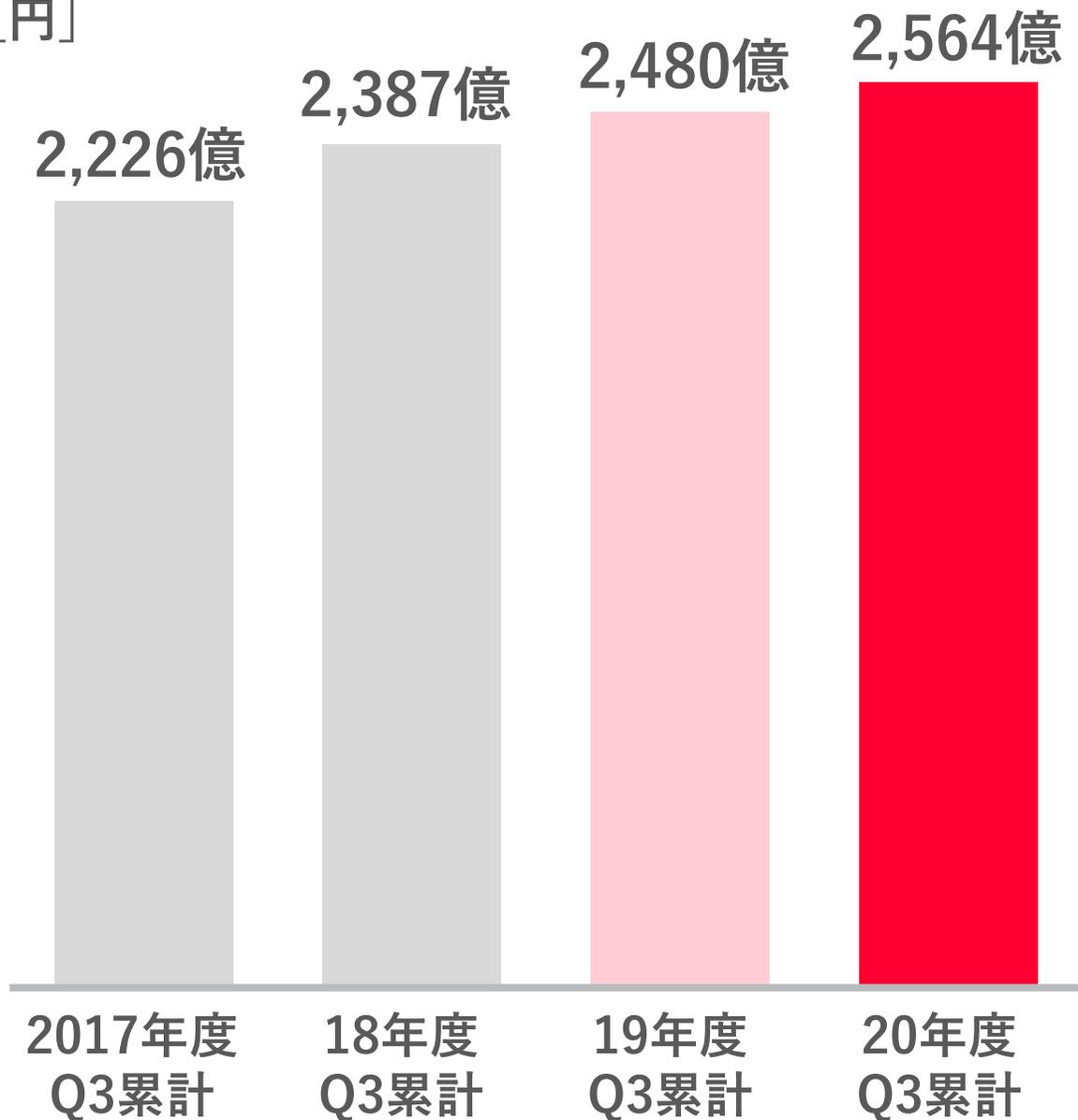
54%増

巣ごもり需要に伴うEC利用増

(注)「Yahoo!ショッピング」、「LOHACO」、(株)チャーム、「PayPayモール」、(株)ZOZOの取扱高を含みます。「LOHACO」、(株)チャームの「PayPayモール」経由での取扱高は重複を除きます。「LOHACO」は、アスクル(株)におけるLOHACO事業の取扱高(20日締め)です。(株)ZOZOの「PayPayモール」経由での取扱高は、重複を除きます。(株)ZOZOの取扱高から「ZOZUSED」の取扱高は除きます。

ヤフー事業 広告関連売上収益

[円]



広告関連売上収益

3%増

巣ごもりによるウェブメディア利用増が
広告出稿の減少をカバー

Z HOLDINGS LINE

経営統合

2021年3月
新戦略説明会

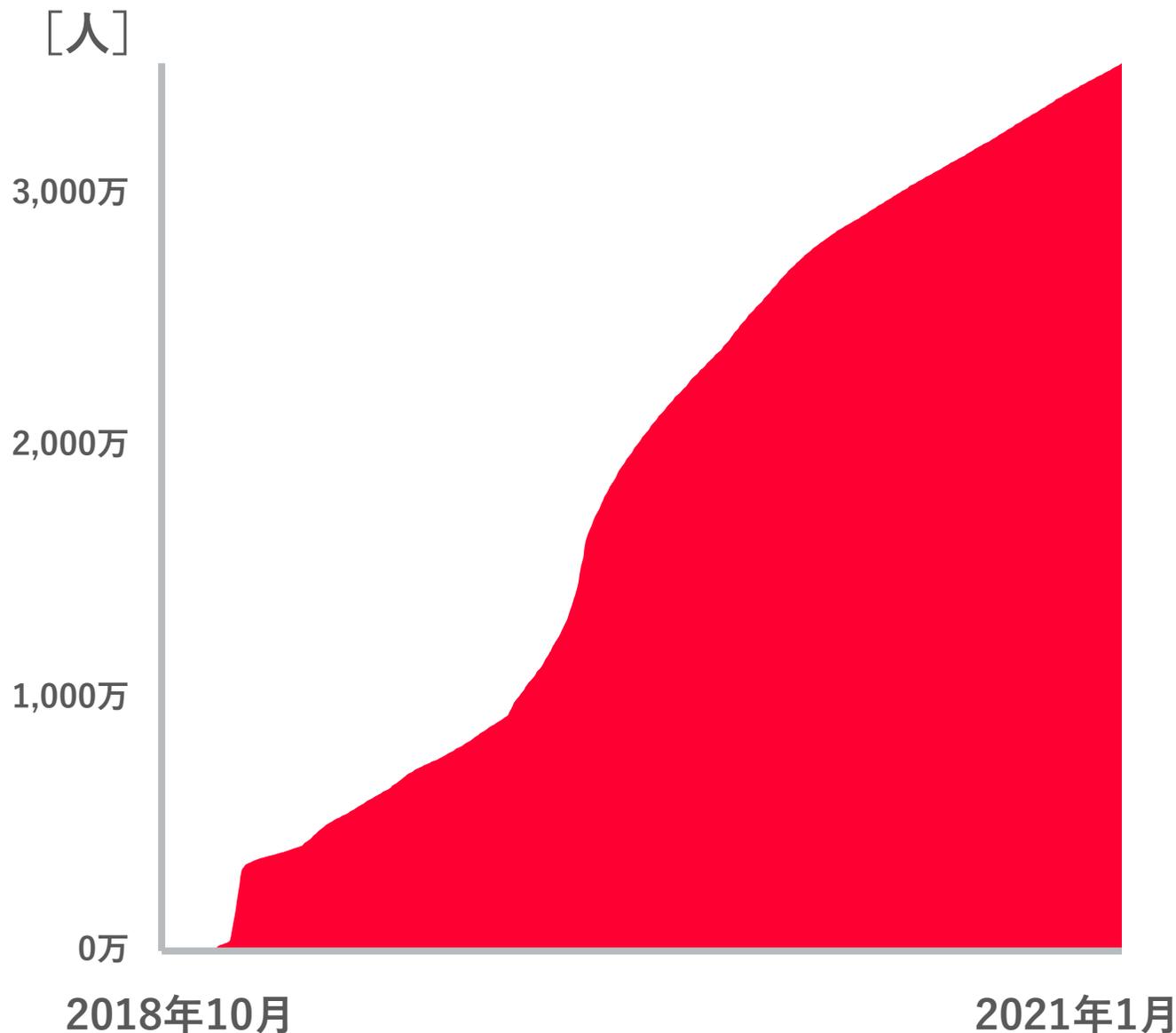


(注) Zホールディングス株式会社とLINE株式会社の経営統合の完了は2021年3月を予定しています。



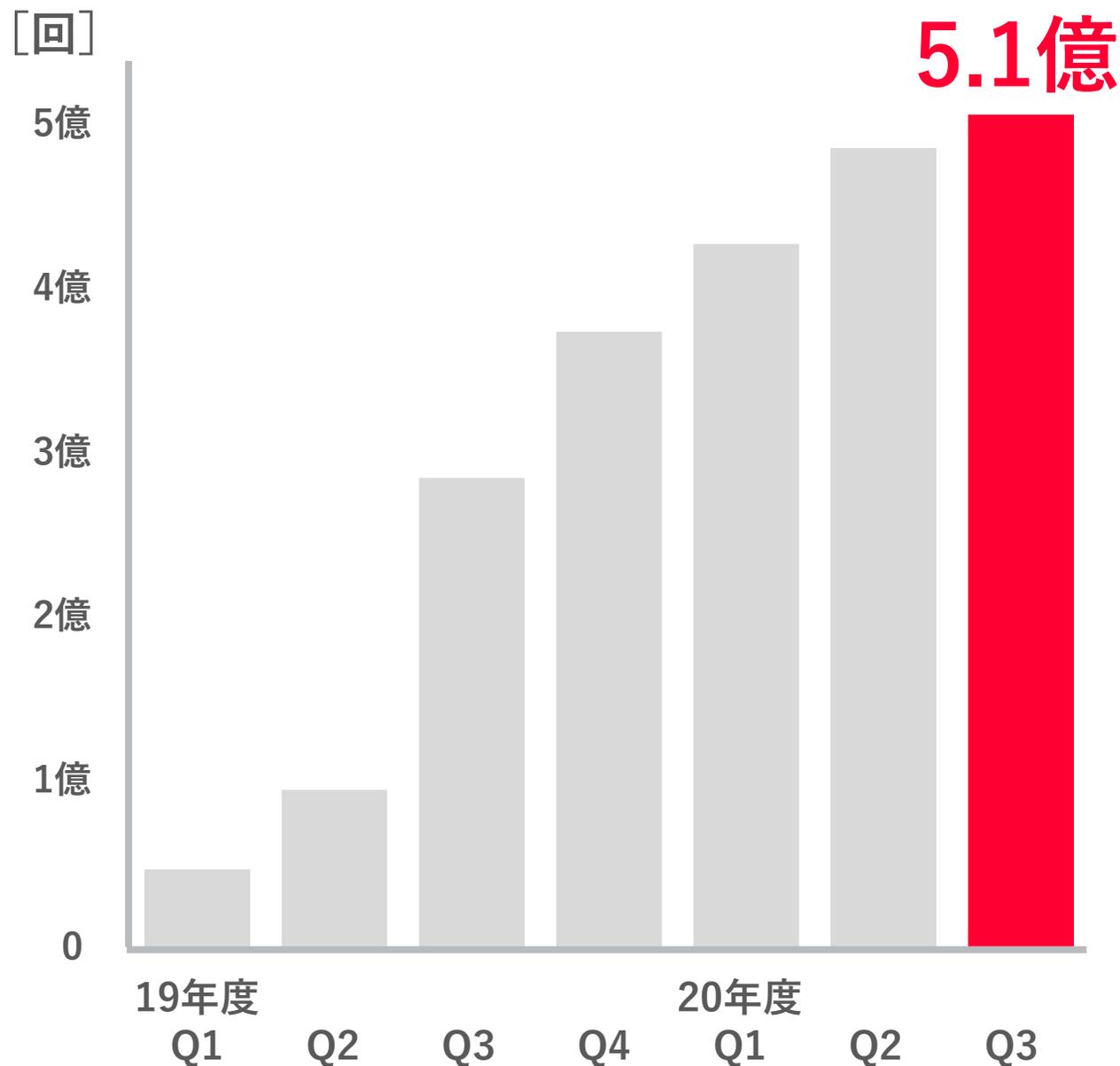
スマホ決済サービス 「PayPay」

「PayPay」登録ユーザー数 (累計)



ユーザー数
3,500万人突破
(2021年1月)

「PayPay」決済回数 (四半期累計)



決済回数
5億回突破

日本で新たなユニコーン企業を育成

フィンテック



スマホ決済



レンディング

SB Payment Service

決済代行



スマホ証券



証券・決済

ロケーション



タクシー配車



地図サービス



モビリティ
シェアリング



AI画像認証

セキュリティ



エンドポイント
セキュリティ



端末セキュリティ

モビリティ



MaaS



自動運転

不動産



コワーキング
スペース



ホテル
プラットフォーム

エネルギー



でんき



エネルギー
データ

ヘルスケア



オンライン
ヘルスケア



ビッグデータ/AI



データ活用
マーケティング



位置情報
ビッグデータ

物流



運送用配車支援

通信



空飛ぶ基地局

教育



教育ICT

ソフトバンクの成長戦略 Beyond Carrier

非通信が
成長ドライバーに



通信事業



新領域



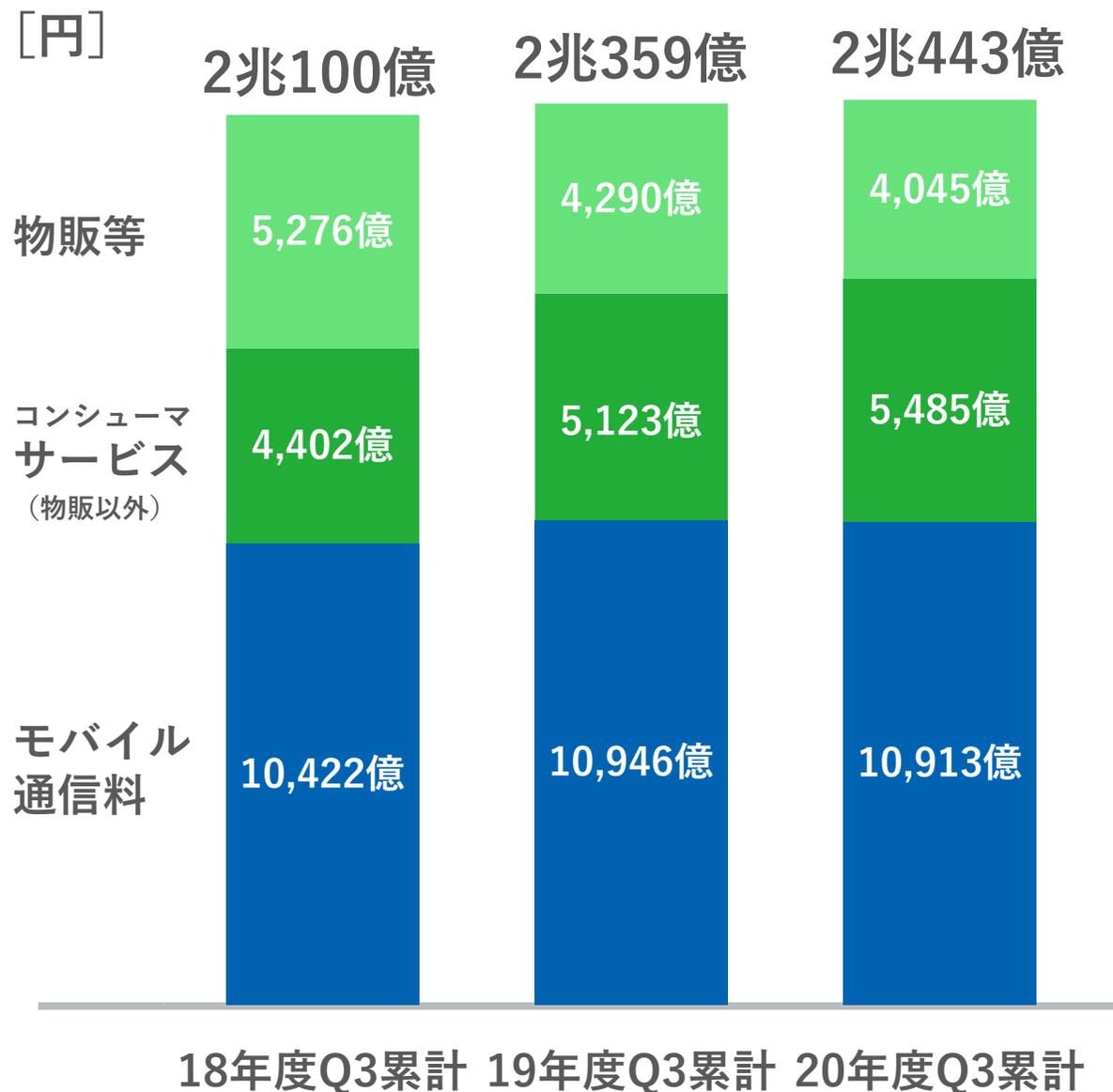
ヤフー/LINE



コンシューマ 事業



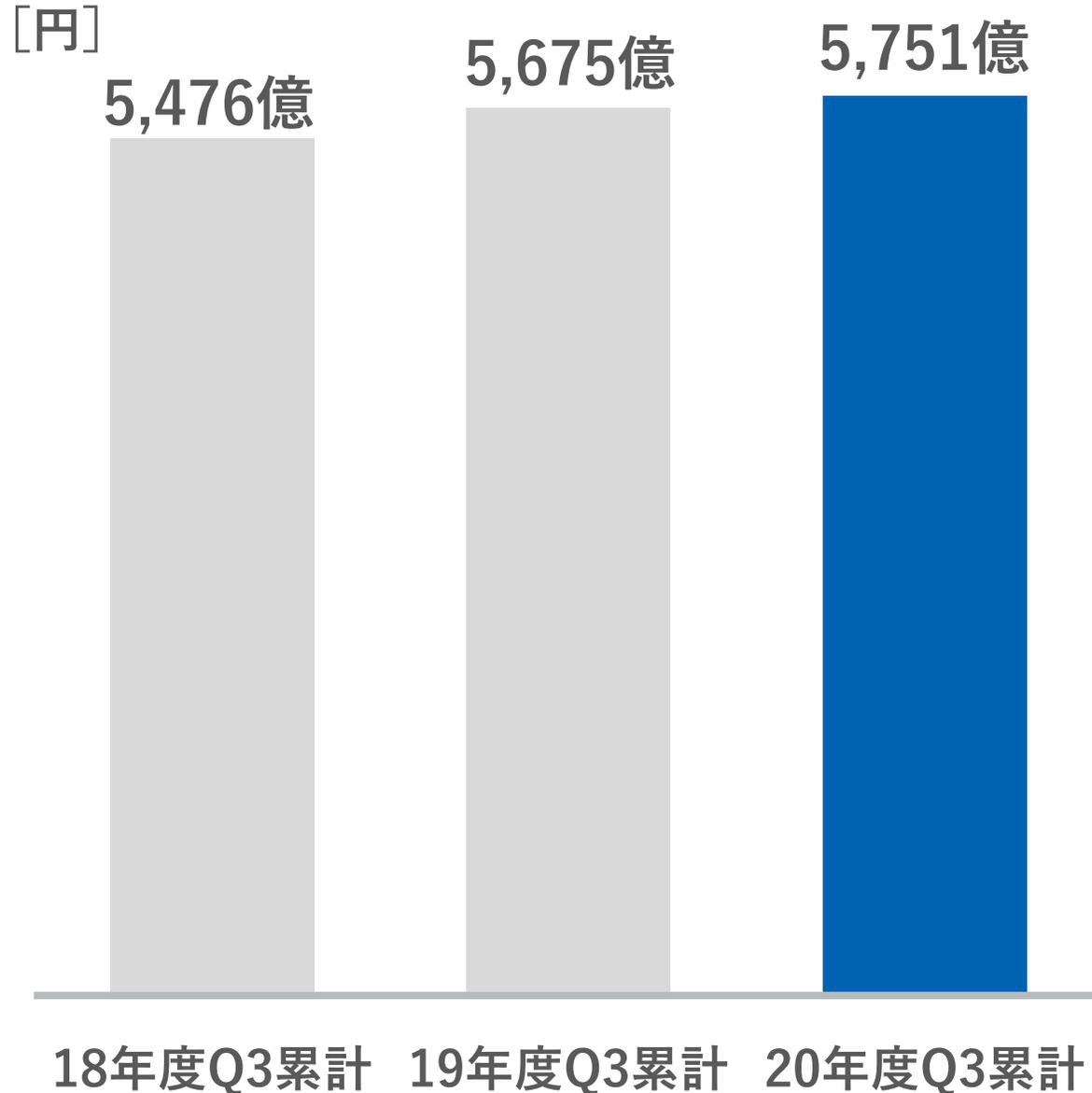
コンシューマ事業 売上高



コロナ禍でも 増収維持

(注) モバイル通信料およびコンシューマサービスの数値は、当社で一定の仮定を置いて算定したプロフォーマ情報(非監査情報)です。

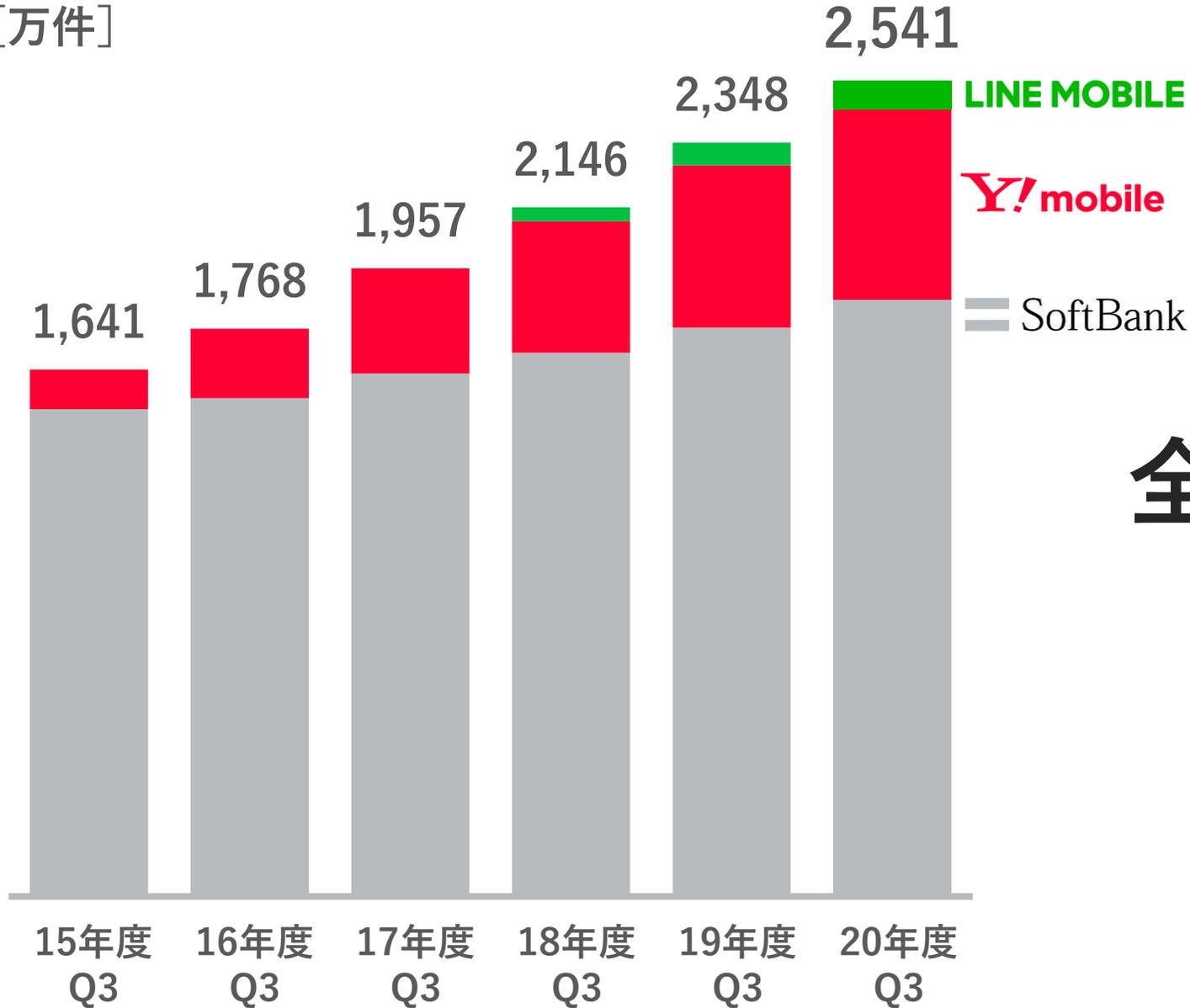
コンシューマ事業 営業利益



営業利益
堅調に推移

スマートフォン 累計契約数

[万件]



8%増

全ブランドで純増

2021年2月1日リリース

基本使用料がズーっと変わらない

新プラン登場

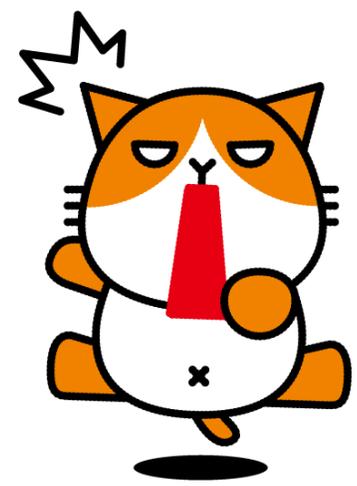
Y! mobile



基本使用料がズーっと変わらない新プラン

シンプルS	シンプルM	シンプルL
データ通信容量 3GB	データ容量増量 10GB ▶ 15GB	データ容量増量 20GB ▶ 25GB
基本使用料	基本使用料	基本使用料
1,980 円/月	2,980 円/月	3,780 円/月
割引額 倍増	固定通信セット割引または家族割引サービス適用時 -500円 ▶ -1,080 円	
ズーっと 900 円/月	ズーっと 1,900 円/月	ズーっと 2,700 円/月

5Gサービス
追加
料金 **0**円



(注) 価格は税抜きです。「家族割引サービス」は2回線目以降の基本使用料が毎月1,080円割引となるサービスです。固定通信セット割引と併用はできません。20円/30秒の通話料が別途かかります。「シンプルS/M/L」へ「新規割」は適用されません。事務手数料、ユニバーサルサービス料が別途かかります。5G通信を利用するには、5G対応の機種が必要です。



ワイモバイル初の5G対応端末

iPhone 12 iPhone 12 mini

2021年2月下旬以降発売

5G対象エリアは限られます

マルチブランド戦略

多様な選択肢をご提供

オンライン専用ブランド

SoftBank on **LINE**

2021年3月 開始予定

20GB

ずっと

2,980円/月



ギガノーカウント

大容量ブランド

SoftBank

2021年3月 開始予定

メリハリ無制限

ギガ
無制限

ずっと

6,580円/月

おうち割/
家族割適用で 4,480円/月～

小中容量ブランド

Y!mobile

2021年2月18日 開始予定

シンプルS

3GB

ずっと

1,980円/月

シンプルM

15GB

ずっと

2,980円/月

シンプルL

25GB

ずっと

3,780円/月

すべて4G/5G共通

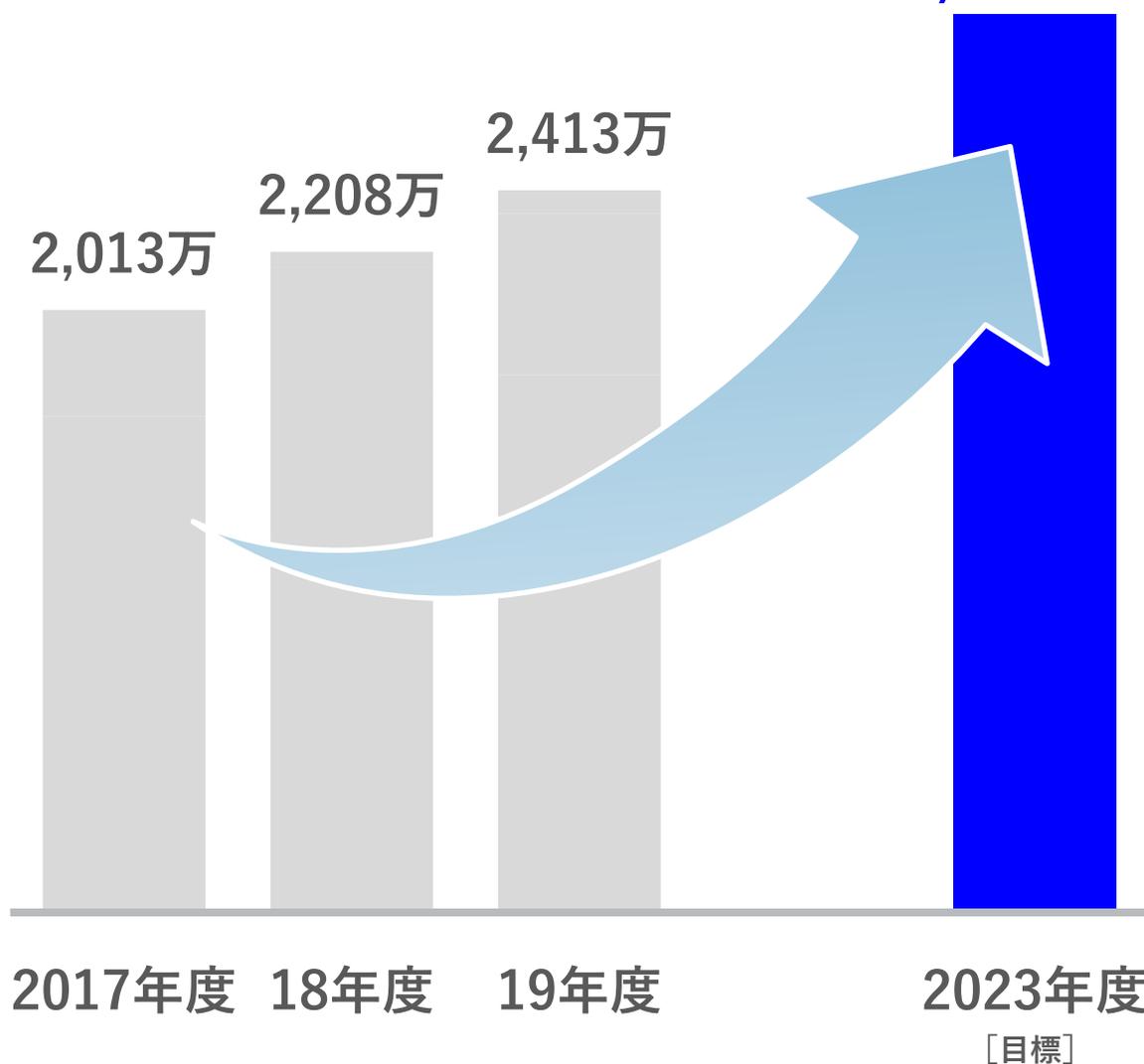
ソフトバンクと同じネットワーク品質

(注) LINEの有料コンテンツを利用する場合は別途お支払いが必要です。LINEサービス内でギガノーカウントが適用されない場合があります。メリハリ無制限 4,480円は新みんな家族割3人適用、おうち割 光セットの場合。時間帯により速度制御あり。テザリング・データシェアは合計30GBまで。5G対象エリアは限られます。通話従量制のため別途通話料がかかります。表示価格はすべて税抜。 58

スマートフォン 累計契約数

[件]

2023年度目標
3,000万



契約数の拡大で
成長を目指す

コスト効率化



コスト効率化 デジタルワーカー4000プロジェクト

開始2年で約2,000人分の業務をデジタル化で置換

RPA・システム・マクロなど

業務委託費の削減

プロジェクトによる業務委託費削減効果

19年度実績

20年度見通し

▲28億円

▲95億円

20年度削減額
95億円

成長領域などに配置転換し 人件費の増加を抑制

(2年間累計)

業務転換

約**600人**



ソリューション事業

PayPayなど
新規ビジネス

通信事業の
クリエイティブな業務

まとめ

1 コロナ禍のデジタル化需要で法人・ヤフーが成長

2 5Gの取り組みが着実に進捗

3 お客様ファーストの3ブランドで契約数拡大へ

4 全社横断のコストダウン努力

SDGs

持続可能な開発目標



2020年5月

6つのマテリアリティ (重要課題) を特定

事業を通じた社会課題解決



ACTION 01

DXによる
社会・産業の構築



ACTION 02

人・情報をつなぎ
新しい感動を創出



ACTION 03

オープンイノベーション
による新規ビジネスの創出



企業活動を通じた社会課題解決



ACTION 04

テクノロジーのチカラで
地球環境へ貢献



ACTION 05

質の高い
社会ネットワークの構築



ACTION 06

レジリエントな
経営基盤の発展



上場2年で国内外から高評価を獲得

世界的なESG投資インデックスに選出



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

日経による経営調査で高い評価

NIKKEI
SDGs

経営調査 2020 ★★★★★

日経SDGs経営調査

NIKKEI
Smart Work

★★★★★ 2021 Best 22

日経スマートワーク経営調査

その他の評価

- ✓ LGBTに関する取り組みの評価指標「PRIDE指標」最高位「ゴールド」を4年連続で受賞
- ✓ 環境戦略や温室効果ガス排出量に関する企業評価を行う国際的な非営利団体CDPの「気候変動レポート2020」で「A-」を獲得



情報革命で人々を幸せに



SoftBank